



CCS便り

NPO 法人 キャリア・カウンセラー札幌
令和2年 6月 15日発行

会報 Vol .25

〒060-0052 札幌市中央区南2条東6丁目 2-1
B-205

TEL. 011-596-6242

FAX. 011-596-6267

E-mail ccs2012@vega.ocn.ne.jp

URL <http://www.ccsap.jp>

インプットとアウトプット

何事においても、アウトプットのための準備は必要になる。

情報のアウトプットにも、普段からの準備はいる。

例えば、SNS を通じてのアウトプットにはホームページやブログ、ツイッター、フェイスブックなどによるものがある。

我々も、ホームページやブログ、ツイッターによるアウトプットを日常的に行い広報活動を継続している。一時期は、レポート集や論文集の発行も真剣に考えたこともあったが、必要なレポートの量がそろわなかったこともあり、今日まで実現に至っていない。

SNS を活用するにしても、紙ベースのものを使うにしても、それなりの準備は必要になる。

また、ブログやホームページに記事を掲載するのには、日常的な活動の記録や日頃学んだことが最低限必要になる。

従って、アウトプットには日ごろからのインプットが不可欠になる訳だ。

インプットの方法には、ネットサーフィンもあろうが、本来の手法としては読書、講演会などの視聴、新聞・雑誌からの情報入手、他人の話からの情報入手などがあろう。

そして、組織的なインプットの方法には、勉強会や研究会、一定のテーマのもとでのレポート作成などが考えられよう。

過去には、勉強会はかなりの回数行ってきた。特に、キャリア・カウンセラー研修の実施前には相当数の勉強会をやって実施前の準備を入念に行った。

日常的に、インプットからアウトプットの循環が上手くできている人や組織は、現代の情報社会における成功者となるに違いない。

NPO法人キャリア・カウンセラー札幌

理事長

平澤 麦生

～ デジタル技術革新による仕事環境の変化に注目 ～

●初めに・・・

我々の社会はここ数年の間に、いわゆる“デジタル技術革新”によって仕事上は勿論のこと、社会生活全般においてもいろいろな変化を意識せざるを得ない状況下におかれていると思います。

そして、更には新型コロナウイルスが2020年初頭より世界規模で感染拡大してきたことが契機となり、職場や仕事の在り方を初めとして、社会生活にも様々な変化が否応なく、それも一気に表れ始めていることは皆さんもご承知のことと思います。

そのような中で、特に仕事環境においては、テレワークが推奨され、テレビ会議システムなども多用されているようです。また、教育現場ではオンライン授業が必要とされ、就活場面では対面ではなく、オンライン面接を余儀なくされ、それぞれの現場では対応が追い付かない状況です。そして、医療体制では、一般患者のオンライン受診が可能となりました。

さらには、Zoomソフトなどによって、先ほどのテレビ会議は勿論ですが、大勢の人々が、オンライン会話とかオンライン飲み会等々といった利用の仕方が一気に加速されたように思います。

このように、デジタル技術はもともと利用拡大が進んでいきましたが、今回のコロナ問題の影響を受けて改めて加速させながら進んでいくことは間違いのないところだと思います。

●「RPA」の活用が進んでいる・・・

そこで本題に入りますが、これらのデジタル技術革新（AI、IoT、RPA等々）によって産業構造等にも変化生じるとすれば、労働者の働き方にはどのような影響を及ぼすのであろうか・・・。そして、このことはきっと職業相談等の仕事に関わるキャリアコンサルタント、キャリアカウンセラーにとっても、十分に理解しておくべきことではないかと思えます。

日本の生産労働人口が減少傾向にあることは周知の事実ですが、その中であって、労働力の有効活用や生産性を向上させるための方策が必要であり、近年の働き方改革の動きの中でも、人手不足を補いながら生産効率を上げるためのいろいろな方策が講じられてきています。

このような背景のもとで、従来よりも少ない人数で生産力を高めるための手段としてRPA（Robotics Process Automation）が注目を集めているようです。

RPAはこれまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作業務をソフトウェアのロボットにより自動化するものです。具体的な適用業務としては、帳票入力や伝票作成、ダイレクトメールの発送業務、経費チェック、顧客データの管理等々があるようです。そして、RPAには次の3段階の自動化レベルがあるとされています。

【 RPA のクラス 】

クラス	主な業務範囲	具体的な作業範囲・利用技術
クラス1 RPA (Robotics Process Automation)	定型業務の自動化	・情報取得、入力作業、検証作業などで、現在のRPAの多くはこのクラス
クラス2 EPA (Enhanced Process Automation)	一部非定型業務の自動化	・RPAとAIの技術による非定型業務の自動化（自然言語解析、画像解析、音声解析等）
クラス3 CA (Cognitive Automation)	高度な自律化	・プロセスの分析や改善、意思決定までを自ら自動化するとともに、意思決定も行う

総務省HPのRPA説明より引用

●RPA の活用効果

このように、RPA（ロボットによる業務自動化）については、現在、国の政策として実施されている「働き方改革」の中の労働時間、残業時間の問題や休日取得の問題などといったことの対処法として、労働力不足からくる労働時間過多の改善や、年次・育児休暇なども含めた休日未取得への改善効果が期待できることから、多くの企業でその導入が進んでいるようです。一般社団法人日本 RPA 協会のホームページによると、2025 年までに、事務的業務の 1/3 の仕事が RPA に置き換わると述べられています。

●定型業務の自動化で、人の役割は付加価値創造へ

さらに、この RPA の今後への期待は、ソフトウェアロボットによって定型業務を自動化し、人は更にレベルアップした仕事に携わることにより、新たな付加価値を生み出していくという効果も期待されていますが、「人による付加価値」はどのようなものになるのか、大変楽しみではあります。

●RPA は最強のパートナー～！

でもなぜこんなにも RPA に注目があるのか、ある雑誌によると、この RPA を取り入れた企業からはこんな意見もあったようです。それは、「RPA は寝ない、疲れない、休まない、忘れない、ミスをしない、また文句を言わない、退職しないという最強のパートナーなんです」ということでした。なるほど、そうとも言えるかもしれませんね！？ 確かに、人手不足で悩んでいる企業にとってはありがたいソフトウェアと言えそうです。

さて、このようにデジタル技術革新によっていろいろな分野での ICT 活用が進むことで職業環境においても様々な変化が生じ、これまでであった仕事が無くなり、或いは新たな仕事が発生したりという職業変化は、我々、キャリアコンサルタントもよく把握しておくことが重要と思われれます。そして、いずれはこのキャリアコンサルタントの仕事内容にも変化が求められていくのかもしれないね～！

NPO 法人キャリア・カウンセラー札幌
副理事長 浜松 敏明

編集後記

前回の会報誌 24 号の発行から、まだ 1 ヶ月しか経ちませんが今回は矢継ぎ早な発行となりました。

コロナウィルスによる自粛が日常になって久しくなりますが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

我々の研修や相談会も中止が続いていて関係者の方々にはご迷惑をおかけしております。

ただ、年間の予定に組み込んでいた「講演会」を 7 月 5 日に行うことに決定しました。今回の講演会は、コロナ対策に配慮し機の配置もゆったりとして換気にも十分に気を付けて実施することにしております。

皆さん、是非ご参加下さるようお願い申し上げます。(T.H)